

ご挨拶 水府倶楽部（水戸一高硬式野球部OB会）幹事長 和知 忠伸

三の丸倶楽部の会員の皆様におかれましては、平素より母校硬式野球部に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。



私は、二年前に前乾幹事長から幹事長の役目を引き継ぎましたが、それ以前にも水府倶楽部の会計、名簿管理、会計監査など総務的な役割を永年務めて参りました。そうした中で、かねがね水戸一高硬式野球部の存在意義は大きく三つあると考えております。

まずは、強くなること、すなわち勝利すること。運動部ですから当然ですが、わが母校は県内有数の進学校でもありますので、勉学と両立させながらいかに勝利に近づくことができるのか。創意工夫して練習に励むことが部員一人ひとりを人間的にも成長させると考えております。そして、その先には甲子園があると信じております。

二つめは、大学野球でも活躍する人材を輩出すること。ご存知の通り、母校硬式野球部の歴史は大学野球（特に早稲田大学）と密接なものでもあります。時代は変わっても、水戸一高硬式野球部で学んだ野球を、高校だけで終わらせず大学でも進化させて欲しい。その意味では、現在も強豪私立大学、旧帝国大学などの野球部でOBが何人も挑戦を続けており頼もしい限りです。今後も

多くのOBが大学で野球を続け、「水戸一高ここにあり」と示せるような活躍をして欲しいと期待しています。

最後の一つは、社会人となったのち、地元茨城で、日本全国で、そして世界各地で活躍する人材を輩出すること。水戸一高で高校野球を経験したからこそ得られた「何か」がきっとそれぞれあるはずで。高校野球をやらなければ分からなかったこと、水戸一高だったからこそ得られたもの……。一人ひとりのOBが、その「何か」を活かしてそれぞれのフィールドで活躍してもらいたいと切に願っています。

さて、我々水府倶楽部は引き続き現役硬式野球部の支援に力を注いでいく所存です。様々な制約もある中、水府倶楽部単独でできることには限りがありますが、現役の監督・部長はもちろん、三の丸倶楽部の皆様や父母会、そして学校、同窓会（知道会）などとの連携を一層強めていく中で、より有意義な支援を行っていきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

水府倶楽部ホームページ

間もなく開幕する選抜大会には、部員数13人（内マネージャー3名）の岩手県立不来方高校が春夏を通じて初めて出場します。別表にまとめたように、同校は平成26年から28年の3年間で夏の全国選手権県予選の3回戦以上に2回、春秋県大会に4回出場しています。やはり最低でも県大会出場レベルが必要です。昨年の秋季地区大会では、初戦で完封負けしたにも拘らず、敗者復活戦（茨城県高野連は採用していない）から這い上がり、県大会準優勝して東北地方大会に出場しました。

3年生13人が引退した新チームになって、練習の9割を打撃練習に充て、毎日200球以上を打ち込んで打撃に自信を付けたそうです。何か一つでも自信が付けばチームは良い方向に進み始めるのではないのでしょうか。主将、エース、4番の小比類巻圭太選手（2年）は身長170cm、体重68kgで体格は普通の球児と変わりません。球速も130km台のようです。

歴史と伝統、部員数、充実した後援組織（知道会、水府倶楽部、三の丸倶楽部）から判断しても、水戸一高ができないはずはありません。会員の皆様、これを信じ、引き続き応援よろしくお願いたします。

別表 不来方高校との公式戦結果比較

平成29年1月28日現在

年	大会	回戦	水戸一高	不来方高
創立			明治11年(1878)	昭和63年(1988)
創部			明治24年(1891)	昭和63年(1988)
現学年定数			320	280
全国大会出場実績	甲子園		3回	なし
	他大会		学生野球協会結成記念大会3回 (昭和32年優勝)	なし
部員数(2年生/1年生/マネージャー)			29(16/10/3)	13(7/3/3)
現監督			43歳(就任7年目)	30歳(就任3年目)
平成26年	春季地区	1	10-0茨城東	1-9盛岡中央
		敗者復活1	-	13-0雫石
		// 2	-	2-3盛岡一
		代表決定	4-6鉾田一	-
	春季県		-	-
	全国大会 県予選	1	4-2鉾田二	-
		2	1-2つくば国際	3-2黒沢尻工
		3	-	0-8花巻東
	秋季地区	1	16-0鉾田二	10-6盛岡農
		代表決定	1-7鹿島学園	6-0岩手
		3	-	2-3盛岡市立
	秋季県	1	-	8-9水沢
平成27年	春季地区	1	2-3波崎	4-9盛岡一
		敗者復活1	-	2-10盛岡西
	春季県		-	-
	全国大会 県予選	1	3-2牛久	1-3住田
		2	5-4下館一	-
		3	0-3明秀日立	-
	秋季地区	1	2-3常磐大高	4-2平館
		2(代表決定)	-	8-5盛岡北
		3	-	1-8盛岡中央
	秋季県	1	-	2-9専大北上
平成28年	春季地区	1	2-3鉾田一	6-2盛岡一
		2	-	4-3盛岡西
		3(準決勝)	-	3-8盛岡工
	春季県	1	-	2-3花巻南
	全国大会 県予選	1	9-0高萩清松	-
		2	0-3霞ヶ浦	7-5大槌
		3	-	5-1大東
		4	-	0-6盛岡大附属
	秋季地区	1	6-0水戸農	0-6盛岡一
		敗者復活1	-	9-5江南義塾盛岡
		代表決定	2-9鉾田一	13-3平館(6回コールド)
	秋季県	1	-	11-0遠野(6回コールド)
		2	-	2-1福岡(延長11回)
		準々決勝	-	7-1盛岡市立(初ベスト4)
		準決勝	-	6-4花巻農(延長10回)
決勝		-	0-9盛岡大附属	
平成28年	秋季地方	2	-	0-2八戸学院光星
平成26年以降	全国大会県予選3回戦以上 進出回数		1	2
	春・秋県大会出場回数		0	4

- (1) 今年度の後半も会報発行、野球部支援、広報、試合情報提供（ホームページ管理）、試合応援、会長への年度報告、などの活動をしました。
- (2) 野球部支援では、①老朽化した救急用品収納ケース、トレーナーズバッグ、野球用具収納バッグの購入、②故障したカウント表示板の修理、に会費の一部（約 11 万円）を使用しました。さらに今年度（3 月末まで）中には春季岡山・高知遠征（3/17-20）への支援を予定しています。なお、これらの支援につきましては部長からの要請内容を幹事会で審議して決定しています。
- (3) 広報関係では、引退した 3 年生父母の会員の皆様はもちろん、まだ行き届いていない東北、北海道地区への広報に着手しました。後者は今年度の目標でもありますので、会員数拡大につながるよう引続き活動します。
- (4) 試合予定と結果については情報入手次第原則その日のうちにホームページに掲載しました。
- (5) 秋季大会では、会員の皆様の応援や期待も空しく、地区大会代表決定戦で鉾田一に 2-9 で敗れ、県大会出場なりませんでした。この数年、春秋の県大会に出場できていませんが、それでも踏ん張るのが真の後援会と考えます。
- (6) 2 月 21 日（火）に鬼澤会長へ平成 28 年度の活動報告をしました。野球大好きの会長は知道会の会長としても活躍されており、母校の甲子園出場への熱い想いを語っておりました。



救急用品
収納ケース



トレーナーズ
バッグ



野球用具
収納バッグ



カウント表示板修理



基礎練習 (平成 28 年 9 月 17 日)



対土浦一練習試合 (平成 28 年 9 月 25 日)



一年生大会 (平成 28 年 10 月 29 日)

三の丸倶楽部

顧問：稲葉節生 (S38 年卒 元茨城県教育長)
 会長：鬼澤邦夫 (S38 年卒 常陽銀行会長 知道会会長)
 事務局長：森 利克 (S38 年卒)
 幹事：照沼貞夫 (S47 年卒、H20 年卒父母会) 池永充宏 (H23、24 年卒父母会)
 田村照悟 (S52 年卒、H24 年卒父母会) 船橋信正 (S63 年卒、水府倶楽部)
 飯田芳久 (H 元年卒)



////////////////////// 会員を募集しています ////////////////////////
 対象：水府倶楽部（野球部 OB 会）及び現野球部父母会の会員以外どなたでも入会できます。
 特典：会員帽子（入会時）の配付、会報（年 2 回）の送付など
 年会費：一口 3,000 円（何口でも可）
 手続き：氏名、住所、TEL 番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。
 連絡先：森利克 TEL/FAX 0294-53-1351 E-mail: ihm2158@ak.wakwak.com

スポーツ観戦が好きで、多くの試合を観てきた。大好きな野球の他に、試合数はぐっと少ないが、ラグビー、サッカー、バスケットボール、アメリカンフットボールとバドミントン。いずれも多くのファンがいる面白いスポーツだ。

企業にいたころ、バドミントンのチームの部長をしたことがある。ある意味名誉職のような性格のポジションだったが、バドミントンという競技にすっかり魅了されてしまった。

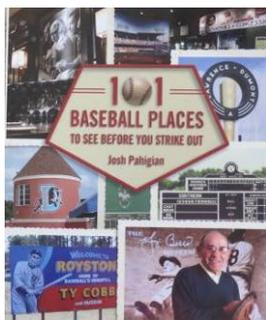
72年の人生でスポーツから得た喜びは多く、スポーツに感謝している。昨年若くして亡くなったラグビーの平尾誠二氏が「スポーツは文化だ。スポーツが変われば社会が変わる。」という趣旨のことを言っていた。深く同感し、バドミントン部の選手たちにこの言葉を伝えた記憶がある。

野球については高校野球の他、大学野球、社会人野球、プロ野球、アメリカの大リーグ、マイナーリーグ、独立リーグ、アリゾナフォールリーグ、韓国プロ野球と多くの機会に恵まれた。最初に観たのは小学4年生の時の県営球場での高校野球で、水戸一高が甲子園出場したチームだった。監督、選手の姿とプレイスタイルを今でも鮮やかに覚えている。

楽しみ、感激し、考え、学ぶ機会をたくさんもらった野球というスポーツに、老いて改めて感謝している。折々に野球について考えることがある。取り留めなく、思いつくまま、野球についての思いを以下に。

◇絆としての野球

試合観戦のみならず、書籍や映画などを通じて野球を考え楽しんできた。好きな映画を二つ。アメリカの「フィールドオブドリームス」と日本の「バッテリー」。フィールドオブドリームスの撮影のためにアイオワ州の田舎に造られた野球場はそのまま保存され観光スポットになっている。手元にある本「101 BASEBALL PLACES(野球ゆかりの地101か所)」に第2位で紹介されている。物語は主人公が天の声に誘われて、所有するトゥモロコシ畑に野球場を造り、さらにボストン、ミネソタ州などを訪ねる。野球場にかつての名選手たちが現れ、最後には彼の父親が若き日の姿で出てくる。子供の頃、父とのキャッチボールを拒否したことがある主



人公が旅の相棒に「アメリカの少年が父親とのキャッチボールをしないなんて、信じられるかい？」と語りかけるシーンがある。その父とキャッチボールをするのがハイライトである。アメリカでも父と子のキャッチボールは全ての家庭の父と子を結びつける神聖な行為なのだ。

あさのあつこ氏原作の「バッテリー」もまた家族の絆を育む野球礼賛の映画で、天才投手の野球音痴の父親が野球をプレイしてみて、「野球は気持ちを伝えるスポーツ」だと知る。野球は社会の基礎である家族、その家族の絆を育むと同時に仲間の絆を強くするスポーツなのだ。平尾氏の「スポーツが変われば社会が変わる」は真理に違いないと思う。

◇友好のビザとしての野球

ロスアンゼルスのレストラン事務所で、これからマイナーの野球を見に行くと言ったら、スタッフの機嫌が良くなって友達ようになった。9. 11以来厳しさを増しているアメリカの入国審査で先ず聞かれるのは、滞在日数と渡航目的である。「プレジャー」と答えて、「野球を見に来た」と続けると、審査官の厳めしい表情が変わり「Who?」(どのチームか)と。私「ヤンキース、フィリーズ、…」。審査官は「好きじゃない!」と、メッツのファンだった。別の入国審査の際に、数日前に話題になった広島選手の活躍を知っていた審査官には驚いた。これらの出会いにおいては野球が私の英語力を補って記憶に残る会話となった。野球を愛することが初対面の人でも心を繋ぐ道具になったと思っている。

◇「間」のあるゲームとしての野球

投手が投げてゲームが始まる。そこまでの「間」があるスポーツである。この「間」があることが日本人の感覚に合い、広く愛されることになったと思う。この「間」のあいだに、次に起こりうることと、その起こりうることの確率と試合への影響の大きさを考え、備えをすることがチームの力になる。技量に増して、この思考力が大切である。野球は他のスポーツに比べて選手の役割がより固定的である。個々の選手の思考とまた選手間の和を持ってその役割の範囲を広げ、相乗効果を得れば、チームの力は甚大なものとなる。試合の機微を捉え、上記の思考をすることに於いて、水戸一高の選手諸君の能力は抜きんでていると考える。長年待っている甲子園への道と、その先の頂点への可能性は大きいものだと確信している。

神様は私に野球好きになり、生涯を通して熱烈な水戸一高ファンになる人生を下さった。あのアルプススタンドで「旭輝く」を歌う日が遠くないと感ずるこの頃である。(入魂第19号に続く)

応援メッセージ

古川 勝也 (H29 年卒父母会)

グリーンとレンガ色のグラウンドにホーム。順不同の背番号をスタンドから見つめながら、水戸一高の校歌を聞いた。校歌を歌い終わると同時に背番号15は3塁側スタンドの応戦席に向かって好スタートを切った。他の背番号も水戸一高生とOBが待つスタンドへ駆けていった。ベンチからは監督、部長、マネージャーも集まり、全員で一列に並び一礼。大応援団からの祝福を貰い笑顔でいっぱいのが出たことを、今でも覚えている。

なぜ野球を続けているのかと息子に聞いたことが

あります。「野球が好きだから」と単純で明快な返事でした。小学校2年生から始めて11年目になる。野球一色の息子といつも一緒にいたグローブは今、祖母の写真がある和室で黒光りを放っています。汗と涙、厳しさ、悔しさ、喜び、礼儀や姿勢など、多くの事を野球を通して得たことは、これからの人生に必要な糧になると思います。私も息子の野球を通して多くの方と知り合い、歓喜や感動に浸るができました。

これからも、水戸一高野球部の活躍を陰ながら応援しています。



背番号15古川稔己君が高松清松高校を完封 平成28年7月9日(土)
第98回 全国高等学校野球選手権 茨城大会 日立市民球場

お世話になっています マネージャーさん

リスタート —この冬におけるチームの変化— 二年 中村 祐斗

新チームが発足して早8ヶ月が過ぎ、夏の大会まで僅か4ヶ月となってしまった。今回、会報の記事を書く機会を頂きましたので、読者の皆様に、今年の水戸一高硬式野球部について技術以外の観点から紹介させて頂こうと思います。

今年の水戸一高硬式野球部が大切にしているもの。それは「言葉」である。チームが発足した初日、竹内監督は「言葉」を挙げられた。以降、今に至るまでのこのチームは「言葉」を大切にしてきた。

「言葉」には大きく2種類ある。1つは「無形的」な言葉、もう1つは「有形的」な言葉である。「無形的」な言葉とは、音声のことである。そして、「有形的」な言葉とは、活字化された文字のことである。



中村マネージャー 菅沢マネージャー 折橋マネージャー

この2つの「言葉」はそれぞれ大きな意味をなし、チームの雰囲気や野球に対する考え方・姿勢に大きな変化をもたらした。「無形的」な言葉という面から見ると、全体での集合で話す量が増え、それに伴って考えの共有量も増えた。各人の考えを全体の集合時に語る。

各人の考えを全体と共有することで、新たな価値観・考え方が生まれた。

一方、「有形的」な言葉としての文字で見る。先代のチームのときから、竹内監督から本を読むことを推奨されてきた。現在、チームでは、あらゆる分野で成功を収めた一般人から著名人までたくさんの人の話が短編集のような形式でまとめられた本を読んでいる。そして、その話から読み取ったこと、考えたことを話す機会が設けられている。この幾多の成功者の話を本という形で読むことで野球に通ずる考え方を吸収し、さらに、読み返すことで以前読んだ時と別な新たな考え方も得られる。又、活字化することで、今まで実施してきたことや教えられたことのインプット・アウトプットがスムーズにでき、記録にも残るのでより鮮明な意識にもなる。

次に、夏の大会を勝ち抜くためにどうすべきか、私の考えを述べてみます。

このチームが勝ち抜いていくために必要は「闘争心」である。このチームは、先代のチームから大会を経験している選手が多く、発足当初は、これを強みにして試合を重ねてきた。しかし、昨年の秋季大会では鉦田一高に無念のコールド負け（2-9）を喫した。その後、ミーティングに1週間かけ、チームの在り方を見直し、昨シーズン最終の中央高校戦を終え、アウトオブシーズンを迎えた。この過程の中で変化は大いにあった。だが、それでも何か不足している。私はそう感じた。それは何かと熟考した結果、辿り着いたのが、先ほど挙げた「闘争心」である。相手校に対する闘争心は誰ひとりとしてこのチームでは欠如していない。私が感じたのは、「チーム内での闘争心」である。新二年は新三年に遠慮したりレベルの差から諦めたり、そのため新三年は危機感が薄れ、心のどこかで油断しているようにも感じられた。しかし、この冬はその懸念も消え、お互いに切磋琢磨している。特に新三年は最後の冬ということもあり気合が入っている。試合が解禁されてから、どのようなパフォーマンスを示してくれるか楽しみである。

高校野球で学んでいること

二年 折橋 桃子

私がこの高校野球という世界に飛び込み、身をもって感じていることは「一人の存在の大切さ、一人が与える影響の大きさ」です。主将もエースも他の部員もマネージャーも全員が部員です。全員で勝利を追い求める。自分がどのような立場に置かれていようと、その人にはその人に適したチーム内での役割がある。そして、全員の良さが絡み合い、一つのチームという大きな組織になる。良くも悪くも、たった一人の言動で、チーム、人の心は傾く。勇気づけたり、鼓舞したりする一方で、自信を喪失させたり、悩みの種を作っ

てしまったりする。高校野球では、一人「くらい」ではない。その一人が重要であり、まして他チームに比べ人数の少ない私たち水戸一高硬式野球部ではなおさらである。チーム全員に人間力が求められる。勝てる要素は技術よりも人である。これも私が高校野球を通して学んだことの一つである。喜びも悔しさも感じるのは人であり、その感情が人を動かす。人の強い心は高い技術に勝ると思う。人は大きく変わる。私自身も、高校野球を通して、精神的に強くなったと感じます。高校野球は私に多くの学びを与えてくれ、変化をもたらしてくれています。しかし、より大切なことにはまだ気がついていないような気がする。その「何か」、そして何よりも「勝利」を追い求めていきたい。



なぜ硬式野球部に入部したか

一年 菅沢 和花

昨年の春、部活動見学で硬式野球部が練習しているグラウンドへ足を運んだときに出会った先輩のマネージャーがいました。私を温かく迎え入れながらも選手、監督の指示を受けてきぱきと仕事をこなす姿を見て、「高校生でここまでできるのか」と思うと同時に「私もこんな人間になりたい」という憧れの気持ちを抱きました。

しかし、入部し実際に活動してみると、憧れの存在である先輩のような「水戸一高のマネージャー」への道は、想像していたものよりも陰しく厳しいものでした。常に周りのことに目を配ること、誰よりも早的確に行動すること、その場にいるだけで周りを明るくし、勇気づけ、そしてチームを一番に理解し、支え、勝ちに貢献するマネジメントを心がけます。

まだまだ自分への課題はたくさんありますが、高い志を持つ部員、憧れていたマネージャーの先輩、竹内監督と小島部長をはじめたくさんの先生方と関わり過ごす毎日とはとても充実しています。

まもなくアウトオブシーズンが明け、春がやって来ます。昨秋に経験した悔しさを忘れず、たくさんの勝利をつかむことができるよう努力していきますので応援よろしくをお願いします。

二年生



馬場 達哉
水戸二中
主将・内野手



内桶 達史
友部中
捕手・外野手



内野 汰一
城里常北中
内野手



大賀 悠生
泉丘中
外野手



加藤 優作
城里常北中
外野手・内野手



川田 尚輝
水戸三中
外野手・内野手



栗原 幸太郎
水戸四中
捕手



香西 健匠
茨大附属中
外野手



小柴 鴻士郎
茨大附属中
内野手



島 凌外
東海南中
内野手



田中 希
水戸一中
内野手



常井 直樹
友部二中
投手・内野手



飛田 怜央奈
太田中
投手・内野手



中村 祐斗
瑞竜中
マネージャー



萩谷 大智
笠原中
外野手



幡谷 寛明
茨大附属中
副将・投手・内野手



深田 皓太
大島中
内野手



折橋 桃子
佐野中
マネージャー

一年生



岡田 隆佑
勝田一中
捕手・内野手



金澤 正太
生瀬中
投手



鈴木 健拓
那珂一中
内野手



関山 風野
水戸一中
外野手



武士 新一郎
東海南中
外野手



照井 貴太
水戸二中
捕手



廣江 敏也
大島中
外野手



松尾 俊吾
茨城大附属中
外野手



米川 亮輔
旭中
外野手



渡辺 勤太郎
石川中
内野手



菅沢 和花
那珂湊中
マネージャー

試合結果・予定

平成28年度後半 公式戦・準公式戦・定期戦結果

月	日	大会	球場	結果
9月	9日(金)	秋季地区一回戦	水戸市民	○6-0水戸農
	12日(月)	" 代決戦	"	●2-9鉾田一
10月	29日(土)	一年生	水戸農	●0-5常磐大高
11月	12日(土)	水商定期戦	常銀平須	●1-5水戸商
1月	2日(土)	豚汁会	水戸一	●2-7水府俱樂部

平成28年度後半 練習試合結果

月	日	球場	結果
8月	27日(土)	水海道一	●7-9水海道一 △3-3 "
	31日(水)	牛久	△4-4牛久 ●2-6 "
9月	3日(土)	北茨城市民	△7-7日立北 ●2-3 "
	4日(日)	勝田工	●6-7勝田工 ●4-6 "
	25日(日)	土浦一	○10-5土浦一 ●1-4 "
10月	10日(祝)	常総学院	●0-7常総学院 ○8-1竜ヶ崎南
	16日(日)	敬愛学園	●1-10敬愛学園 ●5-8 "
	22日(土)	水戸工	●3-12水戸工
	23日(日)	土浦湖北	●2-11土浦二 ●4-10土浦湖北(5回)
	30日(日)	取手二	●0-6取手二 ●2-6 "
11月	3日(祝)	那珂	○3-1那珂 ○11-7 "
	13日(日)	中央	●3-6中央 ○4-1 "

平成29年度前半 試合予定 (平成29年2月24日現在判明分)

月	日	大会・対戦校・会場等 (V:相手高G、H:水戸-G)
3月	12日(日)	練習試合 清真・波崎柳川(V)
	17日(金)	岡山・高知遠征移動
	18日(土)	練習試合 岡山県立津山工・岡山県立岡山城東(V)
	19日(日)	練習試合 尽誠学園・高知県立高知商(V)
	20日(祝)	練習試合 広島県立広・岡山県立玉野光南(V)
	23日(木)	練習試合 取手松陽(V)
	24日(金)	練習試合 水海道一(V)
	28日(火)	練習試合 山梨県立都留(H)
	29日(水)	練習試合 青森県立弘前・佐久長聖(H)
	30日(木)	練習試合 帝京長岡(H)
4月	1日(土)	練習試合 群馬県立中央中等(H)
	2日(日)	練習試合 福島県立安積(H)
	5日(水)	練習試合 石岡一(V)
	8日(土)	練習試合 福島県立安達(H)
	9日(日)	練習試合 牛久栄進(V)
	11日(火)	春季水戸地区大会組合せ抽選会
	14日(金)	春季水戸地区大会開幕(～4月17日(月))
	20日(木)	春季県大会組合せ抽選
	28日(水)	春季県大会開幕(～5月6日(土))
5月	3日(水)	(練習試合 取手二(V))
	5日(祝)	(練習試合 栃木県立宇都宮(H))
	6日(土)	(練習試合 茨城高専(V))
	7日(日)	練習試合 土浦一(H)
	14日(日)	練習試合 緑岡(V) 春季関東地区大会組合せ抽選会
	20日(木)	春季関東地区大会開幕(～24日(水)於茨城県)
	28日(日)	練習試合 つくば国際(V)
6月		市内大会
	11日(日)	練習試合 千葉県立佐原(V)
	21日(水)	全国選手権茨城大会組合せ抽選会
7月	8日(土)	全国選手権茨城大会開幕(～7月26日(水))
8月	7日(月)	全国選手権大会開幕(～8月21日(月)) ジュニア大会



秋季地区代表決定戦(平成28年9月12日)



豚汁会(平成29年1月2日)

編集後記